

2021年4月19日配信

報道関係者各位

宗像サニックスブルース ラグビートップリーグ試合情報 (4/18 近鉄ライナーズ戦 結果)

株式会社サニックス（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 宗政寛）が有するラグビーチーム「宗像サニックスブルース」の、4月18日（日）、ジャパンラグビートップリーグ 2021 プレーオフトーナメント1回戦 近鉄ライナーズ戦の、試合結果、チーム広報コラムを、下記の通りお知らせします。

宗像サニックスブルース vs 近鉄ライナーズ 21:31(前半 14:17)

チーム広報コラム（最終回）

「プレーオフトーナメント1回戦～あきらめるという言葉～」

2021年4月18日、まぶしいほど緑の芝が美しい秩父宮で行われた、ラグビートップリーグ・プレーオフトーナメント1回戦、ブルースは近鉄と戦って、31対21のスコアで敗れました。これで、ブルースのシーズンは終了。これまでのトップリーグが終了し、来季からは新リーグとなるため、ブルースが、1部、2部、3部のどのカテゴリーに入るかは、今後の発表を待つこととなります。つい先日、近くのお寺で目にした言葉が強く心に留まりました。それは、「あきらめる」という言葉の本来の意味。つまり、通常、「断念する」という意味にしか使われていないけれど、本来、その言葉には、「明らかに見る」「明らかにする」という意味が含まれるということ。言い換えれば、本当の意味で「あきらめる」というのは、これまで自分がどう歩んだかと、これから自分がどう歩んでいくべきかを、明らかにしていくということで、その意味で、「あきらめる」というのは大切だということ。だからこそ、すぐ「次」の話をして、「今」を誤魔化してしまうのではなく、まず、トップリーグのチームで唯一、トップチャレンジ勢に敗北したという、大変残念な結果に終わった原因を一つひとつ明らかにする必要があるし、それでこそ初めて、次の歩みをどうすべきかを明確にしていけることができるでしょう。そこからしか、ブルースの新しい歩みは始まらないと思われてなりません。最後になりましたが、サポーターの皆様、今季も、熱い応援を、本当にありがとうございました。 #StrongerTogether

チーム広報 野口 眞弓

福坪龍一郎キャプテンコメント

「正直たくさん情報があり、難しい1週間でした。もちろん、それを言い訳にするつもりはありません。今日は、プレシーズンからずっとやってきた、速いテンポでボールを動かしてつづけることを意識してプレイしましたが、近鉄さんが上でした。後半、数的優位も活かすことができませんでした。今シーズン私自身、キャプテンとしてチームを引っ張りつづけることができなかつたのは申し訳なく思いますが、選手、スタッフと1シーズン戦えたことは誇りに思います。また、不甲斐ない結果に終わり、応援していただいたファンの方々にはとくに申し訳なく思います。毎試合の応援、本当にありがとうございました。これからも、宗像サニックスは変わらず、夢があるチームでありつづけますので、来シーズン以降も応援よろしくをお願いします」

試合経過、その他のコメントは、以下をご覧ください。

<https://rugby.sanix.jp/kite/23e88335a5f64bb1bfe49f9b54aec8de.html>

◎本件に対するお問い合わせ先◎

株式会社サニックス秘書室 田中・山下 TEL: 092-436-8882
宗像サニックスブルースFC事務局 E-mail: rugby-fc@sanix.jp